

四名の所に、既に十名からの候補者が現れて居ります、此多數候補者の過半は、皆輸入人ではありますが、我市土着の候補者は、果して此輸入候補者に對比して、劣る点があるのでありませうか、私の見地より致しますれば、寧ろ勝ることも劣る所はないのであります、然るに市民は何が故に土着の人を推さず、輸入の方へ力を盡すのでありませうか、例の黨派的根柢が、理性の判断を過つて、終に茲に至らしむるのであります、言ふまでもなく國會議員は、國家の選良でなければならぬ、此大切な議員を選ぶに方つて、斯る非合理の事を敢てするのは、實に我市民の耻辱ではありませんか、此際此時、御互は尤も冷靜なる頭腦を以て、之が解決を施さなければ、後來必ず臍を噛むの悔を貽すのであります、我々の推薦に係る、大井勇君は、固より政黨政派には、何等の地盤を有して居らぬ人であります

併しながら市の公共事業に従事して、市民の爲めに多大の貢献をなされた事は、よし大井君に悪感を抱いて居る人でも、恐らく之を非認する事は出来ませうまい、大井君の政治的手腕としては、府會や市會に於ける言動に徴して、已に市民諸君の認知せられる所であらうと思ふのであります、されば君の如き穩健着實なる人物を、議會に送る事は、實に我々市民が當然取るべき所の責任であり、義務であらうと信するのであります、大井君の政見に賛同し、大井君の人格に傾倒し、大井君の學問技倆に信頼せられる人は、大井君の爲めに、諸君が貴重なる清き一票を投ぜられんことを、私は熱望して止まないであります。



## 公會堂落成式の辭

市として公會堂の設けがないのは、恰度個人の住宅に、應接室のないのこ一般、其不便なる事と言つたら、實にお話しにならないのであります、例へは商工業の發展に資せんが爲めに、夫々専門の名家を招聘して、有益なる講演を聞かして、適當なる集會所がなくては、怎うする事も出来るものではありません、一時劇場で間に合せん致しまして、時間に差し合ひが生じたり、使用料の相談が纏らなかつたりして、講演を聴く的機會を失つた事は、是迄幾回か判らないのであります、勿論毎年の市會に、公會堂設置案は、いつも提出せられるのであります、是亦財源固湯を理由として、毎回否決の運命に逢着せない事はなかつたの

である、斯くては何れの日にか、公會堂の建設を見るに至れるものか、心ある者は寄るゝ觸るゝ、此事のみに言及して居りましたが、義侠に富める木野豪放君が此缺陷を補ふべく、其建設費として、市に二百萬圓を寄付せられましたのは、空谷の跫音も申すべきもので、市民の愁眉も之が爲めに伸ぶるに至つたのであります、昨年寄付受入の當日より、新築工事に着手し、萬二ヶ年の日子を費して、巍然たる建築物が、今日目出度落成を告ぐるに至りましたのは、實に欣快に堪へないのであります、我々市民は今後之を有益に使用して、木野君の盛意に奉答する所がなくては、相濟まない次第であります、私は市民一同を代表して、木野君の美舉を感謝するに同時に、本會堂の竣成を祝福致すのであります。



## (ゆるる) 演 説 体

## 謠曲研究會に臨みて

刻下上流社會の消閑事業として、都鄙の別なく、却々の謠曲流行であります。無論實際問題には、屁の突張りにもならないものと思ふのであります。或人は謠曲は高尚なりと讚美致しまするが、又或者は亡國の音調なりと搔削すやうであります。私の如き謠曲に何等の趣味を有さない者は、果して高尚の音調であるか亡國の音調であるか、固より知り得べき事ではありませんが、夫の流派に拘泥して、互に非議するやうな事は、深く慎むべきものではありません。觀世、寶生、今春、金剛にせよ、喜多にせよ、いづれも猿樂より胚胎したものであります。

385 演 講 と 説 演

すれば、少多の差異はあるにしても、其根本に於ては、風馬牛相及ばざるが如き事は、ない筈であります。ざるを我佛尊と固守して、妄に他派を排斥するが如きは、畢竟大源頭の同一なるを知らざるものと言はねばなりません。兎角謠曲師に云へる者は、俳優の化者然たる人間が多いやうであります。其技を學んで其人に倣はずに居さへすれば、私も敢て不賛成を唱ふる者でもありませんが、之が爲めに去勢的人物となつて、馬鹿大名の二舞を學ぶやうでは、私が斷じて與みせざる所であります。折角の御研究に、茶々を入れるやうであります。謠曲研究に付て、自己の態度を決する事には、私の説も強ちに孟浪の言でない事は、御判りあるべき筈であります。



### 衛生新報發刊の式辭

本市の如き衛生事故の多い所に、之が機關紙の備つて居ないのは、實に一大恨事でありました、然るに衛生課就職の某君が、今回毫も他人の力を藉らず、自己の資財を投じて、機關新報の發刊を計畫せられましたのは、本市の爲め誠に慶賀すべき事であり、私共は此美舉に對しましては、健全なる發達を遂げるやう努力致す考へであります、之を今日の式辭に致します。

### (一) 演 説 体

#### 電話交換手慰勞會に於て

私は平生皆さんには、多大の同情を有して居る一人であります、幸ひ今日局長殿より御招待を受けて、此慰勞會の末席を汚す事になりましたから、此機を失せず、皆さんに少しくお話申上げたいた事があります、皆さんは一日も缺ぐべからざる通信機關の、尤も主要なる任務に當りて居る所の人であります、時々刻々、頻繁に交換せられる談話の数は、平常の日でも、其話数は大したものでありませう、まして何等かの事件が突發した時などは、局外者の想像も出来ない位、御繁忙であらうと思ふのであります、皆さんが此忙劇繁劇の要衝に當りて、通話者



に遺憾なく、満足を與へられる苦心は、却々困難であると共に、其お骨折の多大なる事は推想するに難からぬのであります、然るに一部冷刻なる電話加入者は、寸分時間でも、通話受付の遅滞する時は、恰も犬馬でも叱咤するやうに、皆さんに熱罵冷罵を浴せかけて、快哉を叫ぶ人がありますが、私は其れを目撃する毎に覺へず暗涙潜々袂を潤すのであります、慙ふ申金けましては、少しお耳障りになるかも知れませんが、随分多くの中には、不深切な交換手も居られるそうでありますが、其れは例外中の例外であつて、皆さんは尤も忠實に、尤も熱誠に、職務に鞅掌して居られることは、私が堅く信じて疑はざる所であります、今日では教員や巡查などには、大に優待の法を設けられたのでありますから、皆さんに對しましても、相當優待の道を講じて上げたいと思ふのであります、先づ私の考へミ

致しましては、五年勤続の人ごか、或は一年皆勤の人には、經費の許す限り、其成績の如何を見て、特別手当か又は特別賞與を給與して、婚嫁準備の一端を補ふやうに致したいのであります、時勢の進轉と共に、通信機關の必要は、一層世人が感じて参りましたから、皆さんは前途に多大の希望を懷かれました、益々職務に力を盡されて、將來幸福の彼岸に、到達せられんことを、希望して止まないのであります。

### 電車開通を祝するの辭

諸君……私共が他國に参りまして、其國文明の程度は、怎うであるか正確めまするには、先づ交通機關の整備いかに着眼するが第一の捷徑であります、交



通機關の不整備な所は、商工業は勿論、凡ての方面も之に伴ふて、萎靡不振、殆んど見るに足らないものであります、我市に於きましても、電車の交通は、痛切に其必要を感じて居りますので、其計畫は是れまで幾回もなく繰り返されたのであります、何にしろ設立者に其人を得なかつた爲め、思ふやうに株の募集も出来ませんで、折角の計畫も水泡に歸したのであります、處が昨年来市會議員腕野達三君が、市の發展を謀るには、是非とも交通機關を充實せねばならぬと、深く思ひを致されました、之が創立の任に膺られてより以來、日夜寢食を忘れて、東奔西走せられました結果、市民も大に其熱誠に同情して、株の募集に應ずる者が續々現れましたので、豫定の計畫通り、工事も着々進捗して、終に今日の盛典を挙げられる事となつたのであります、之れより我市の面目は一新せられ、益々繁

榮に向ふ事は、私の信じて疑はざる所であり、私は市民一同に代りて、腕野君に深甚なる感謝の意を表するのであります。

### 天長節の式辭

諸君………今日は我が允文允武なる聖天子の御誕辰に相當致しまする嘉節でございますから、苟も日本臣民たる者は、皆祝意を表して、陛下の萬歳を三唱し奉るべきものであります、我が天皇陛下の御登極以來、國運は日々に進展致しまして萬民其堵に安んじて、幸福に浴するここが出来ますのは、偏に陛下の聖徳の然らしむる所であり、我々臣民たる者は、力の能ふ限り、國事に努力して聖恩の萬一に奉答するの覺悟がなくてはなりません、謹んで國祚の盛運を祈つて



聖壽の萬々歳を祝するのであります。

(あ) 演 説 体

按摩鍼灸業者人格昂上に付て

諸君……本日多数お集りの好機を逸せず、私は諸君の人格上に付て、少しくお話を申上げたいのであります、茲に御列席の諸君は、お氣の毒にも皆失明の人であります、其失明不自由の身を以て、明目者同様、活社會に立つて、一身一家を支持して行かれる、困難と苦痛には、實に同情に堪へないのであります、諸君の業務は、未だ醫師の手を煩すに足らない輕症の患者か、又は醫師の力を以てするも、到底平癒の見込なき重症の患者を、治療せられるのでありますから、

其責任は決して輕いものではありません、責任の輕からざる者は、随つて權利も亦た輕かるべき筈はありません、然るに今日の現状を見まするに、諸君の地位は今猶昔の如く、何等進歩の痕を認めませんのは、社會の罪でありますか、將た諸君自らが招く所の罪でありますか、之は諸君と共に大に研究すべき問題であらうと思ふ、諸君の執行せられる任務は、殆んど醫師に鬚髻たるものであります、只だ其異なる所は、學問技術の深淺大小にある迄で、人の苦痛を除いて遣るに云ふ目的に於ては、少しも變つた事はないのであります、處が世人は醫師には、先生の敬稱を捧げますが、諸君には按摩取とか、鍼打とか、灸点師とかの業体を以て、呼棄てに致しますのは、甚だ諸君を侮辱して居るに云はねばなりません、醫師が先生ならば、諸君も先生であらねばならぬ、斯んな矛盾極まる話は、恐らく



他にあるまいと思ひます、何故世人は諸君に對して、斯くも無禮でありませうか些私から申上げ悪いが、多少は諸君も其罪を別たすばなるまいと思ふ事があります、其れは何であるか云へば、敢て諸君全体には申ませんが、諸君の中には随分品性の陋劣な人もあるやうであります、女弟子を手に入れるに、妙な方面の事まで教ふる人があります、又女子にして斯業に従事して居る人は、節操觀念云ふのが、大に缺けて居るやうであります、そこで世人が諸君を見るに、今猶舊時の如く、汚行失徳の不具者にして、輕視するではありますまいか、私の推測は中らずに雖も、遠らずであらうと思ひます、古人が自ら悔りて人之を悔るに申しましたが、諸君は或は自ら悔るの極、人も亦た悔るではありますまいか、此邊は諸君も大に熟考して、各自の品性を昂めずばなるまいと思ふ、諸君の品性が

昂まつたならば、世人の誤解も亦た必ず解ける日があらうと思ふのであります、聊か平生の持論を述べて、諸君の意中に訴へるのであります。

### (さ) 演 説 体

#### 産婆風紀問題に付て

皆さん私は會長として、本日御集會を煩しました理由を、一寸簡単に申上げます、近來産婆の風紀が大に紊れた云ふ風評が立つて居ります矢先、例の悪徳新聞があらゆる方面から材料を蒐集致しまして、私共會員の某々を、盛んに攻撃致して居ります、勿論之は皆さんも御承知の事存じます、新聞の傳ふる通りでありますれば、本會規則第何條に照らして、斷然除名すべきものであります。



苟も人の名譽に關係致します事は、輕々に取扱ふべきものでもありませんから皆さんにお集りを願つて、御意見も伺ひませうし、且つは會員中より、調査委員數名を挙げまして、事の眞偽を確かめやうと云ふ積りで、御足勞を願つた次第であります、私共は社會の上下を通じて、種々の人々に接觸致さねばならない職掌でありますれば、婦人第一の條件たる節操は勿論の事、言語動作に至るまで、衆人の模範となるやうでなくてはなるまいと思ふのであります、此邊は皆さんも平生深く御注意なさつて在しやる事と信するのであります、一寸事件の梗概を御知らせ申上げて、細目は會議に譲る事に致します。

### 在郷軍人團開會式の辭

諸君……… 畏れ多くも我大元帥陛下の御統率遊ばされる我々軍人は 昔の所謂侍であります以上は、武士道の何物たるかを解するは勿論、軍人たる所の品位を保持するに云ふ事は、片時も忘るべきものではありません、我々の居住村は、家數も餘り多くありませんから、在郷軍人會を組織せん致しましても、經費其他の故障で、いつも成立を見るに至らなかつたのであります、處が義侠に富ませらるゝ、我村長某氏は、之を遺憾として、本會の組織費且つは維持費に、私財二千圓を寄付せられましたので、本日日出度發會式を擧ぐるに至つたのであります、村長の此舉は長く金石に勒して、村民の紀念すべき事であらうと思ふのであります。



す、謹んで開會を祝し、併せて村長の好意を謝するのであります。

(き) 演 説 体

橋梁架設落成式の辭

諸君………既往數十年間、某河流に架設されてあつた某橋は、木橋でありましたから、少しく大雨が降り續けば、澎湃たる濁流は、屢々橋脚を洗ひ去りますので、忽ち人馬の交通は、不可能となつたのであります、斯の如き苦き經驗を嘗め來つた我々村民は、痛切に改造の必要は感じて居りましたが、何分莫大な經費を要する事でありますから、いつも空談に流れて、之が實現を見ることは出来なかつたのであります、我縣會議員某氏は、毎年の縣會に、本問題を提けて、改造の

止むべからざる理由、縣費補助の至當なる所以を、細説縷説して、當局者に迫る所がありましたので、當局者も其熱誠に動かされて、愈々縣費支出の事相成ました結果、普く郡民一般からも、寄附金を募集して、工事に着手致しましたのは、昨年の事で、爾後十個月の日子を費して、目出度も堅牢無比の石橋が産れたのであります、縣會議員某氏始め寄附金募集に、多大の苦心を拂はれた諸君の功勞は、此石橋と共に、我々村民一同が、長く紀念して、忘るべからざる事であります、よし今後は猛雨降り來つて獨流の襲ふ所となりましても、嚴立不動、何等の障害もありませんまいから、交通上多大の便利を蒙る事は勿論であります、感激の餘り村民を代表して、此盛典を祝し、併せて關係者各位に厚く御禮申上るのであります。



## (き) 講演体

## 紀元節に付て

大正十一年四月三日、二千五百八十二年なる紀元の佳節に際し、紀元當時の國勢を、世界の狀態を回顧致しますれば、如何に我國の尊崇すべき國體なるかを知らず得る事が出来るのであります、謹んで按ずるに、神武帝の聖壽は一百二十七歳でありますれば、帝の御降誕は即位紀元前五十一年で、之を泰西の曆年に照せば帝の世に在し、は、耶蘇紀元前七百十一年より、五百八十五年の間であつて其位にましましては、六百六十年より五百八十五年の間であります、當時世界の狀態は怎んなものであつたか、之を少しくお話し申上る筈である。

諸君……人類の世界は生息後、整然たる社會を形成するに至るまでは、幾十世紀を経過したか判らないのであります、此裏から夙に文明の曙光を發しましたものは、支那、印度、アスシリヤ、埃及なごであります、日本も此中の一に加ふべき事は勿論です、神武帝即位紀元の年は、支那に於ては、東周の惠王十七年に當るのであります、此時に方りては、各種の學問も既に發達して、政治、經濟、倫理、哲學、工藝、美術、其他百般の學術備らざるはなしでありました、周道漸く衰へて、春秋列國の世となりましては、今日歐洲列國の形勢を、大同小異の觀を呈するに至りまして、後世の國際公法の如きものも、此時に發達致しましたのであります、古今の大聖孔子の出生は、神武帝の崩御より僅かに三十五年後の事でありました、更らに印度の歴史に溯りますれば、神武帝の御世に及びまして



は、印度は大小數多の王國を現出して、當時早くも學術技藝共に雄大壯麗を極むる者があつたのであります、此際婆羅門の徒は、社會の上階を獨占して、宗教の大權を壟斷致しまして、他の三階の士民には、身心の自由を許さなかつたのであります、此時に方りて、大聖釋迦牟尼佛が降誕せられました、恰度神武帝即位紀元の六十一年に當るのであります、此大聖が一切平等を設示して、萬古の陋習を一洗して、世界の人道を培植せられたのであります、此歲月悠々たる二千五百八十二年の間に、支那印度アスシリヤ埃及等の國々は、或は亡び或は衰へて、後世の詩人をして徒らに於邑せしむるのみであります、特り我日本帝國は、建國紀元の第一年より、第二千五百八十二年の今日までも、君は天孫の君を易わす、民は天孫の民を改めず、其君を奉じ其民を保ち、繼々承々、東海の表に屹立し、

國祚は愈々昌々、文運は益々進む所以のものは、國体の宇内に冠たるが爲めだと思ふのである、茲に紀元節を祝するに方り、無限の歡喜に堪へず、感慨の一端をお話し申した所以であります。

(ゆ) 演 説 体

郵便配達夫慰勞會に臨みて

諸君………文明の餘澤は、遺憾なくあらゆる方面を潤して居りますが、就中尤も感謝せねばならないものは、郵便制度であります、假令親は天の涯にあり、子は地の角にありまして、郵筒一發すれば、旬日ならずして、彼我の消息を詳かにする事が出来ます、若し至急を要する場合には、一信の打電によつて、瞬間に事



の解決が付くやうな便利は、昔の人の夢にだも見るこゝが出来ない事であります。斯んな便利重寶の機關が備つて居ても、若し配達者其人が、怠慢であつたり、不忠實であつたり致しますれば、種々の錯誤が生じまして、殆んご用を爲さないものであります。忠實なる諸君は、寸点半点、斯る不都合の行爲はなく、雪風膚を劈んずるの朝も、炎熱瓦礫を爍かすの夕も、切々致々として、配達に従事し受信者發信者をして、些の遺憾なからしむる、諸君の苦衷と勞苦には、いつも私は同情の涙を流して居るのであります。私は諸君から書信の配達を受けます時は必ず御苦勞の三字を以て、敬意を表さない事はありません、世の心なき人々は、諸君の勞苦を慰むるに云ふ事を知らず、配達を受けても、一言の挨拶だにせないのは、實に思はざるも甚しいに云はねばなりません、賢明なる局長閣下は、諸

君が平生の勞苦に、尠からず同情せられ、今日茲に慰勞の宴を設けられましたのは、優しくも亦た奥床しいお考へであります、斯る局長を戴いて居られる諸君は益々職務に忠勤せられて、局長の盛意に答へられんことを、只管切望致すのであります。

### (め) 演 説 体 命名式に臨みて

近來姓名判断なき、愚にも付かぬ馬鹿化した事を鼓吹する山師が、到る處に現れたやうであります、彼等は判で押したやうに、いつも引例を致します、本多平八郎、大塩平八郎、東郷平八郎なきの名字は、奇數であるから、孰れも大英傑の



資が備つた譯だなき、世の迷信家を茶化して居るやうであります。實に笑ふべきの極みであります。勿論左傳なきにも、名字に付ては、八茶敷議論も見て居りますが、之れも何等の根據ない理窟でありますから、素より一顧の價値もないものであります。名字が善ければ成功する、悪ければ成功せぬ云ふのは、怎う考へましても得心の行くお話ではありません。今日高見監物君は、令息の命名式に際しまして、耕作云ふ字を選ばれたのであります。高見君の如きは、已に地位あり名譽ある所の人でありますから、華族の子弟らしい、今少し優雅な名字を付けられても、誰も批難すべき筈はありませんが、尤も平民的の文字を選ばれましたのは、私は却て奥床しく感ずるのであります。耕作の二字は、自働的活動の意義が含まれて居りますから、將來令息が其天稟の特性を發揮せられて、

社會のあらゆる方面に、耕作の筆勳を下して、多大の成功を博せられる事は、私が信じて疑はざる所であります。聊か思付を申上げて、今日の御喜びを申し上げます。

(み) 演 説 体

ミシン業の普及に付て

我國婦人の内職に申しますれば、實に無味單調なものであります。裁縫、活花、茶の湯、三味線、琴などの教授は、内職としては先づ上等の方で、ズット下るに洗張、洗濯、産婆、按摩などであります。近來生存競争が激烈になりましたので中流以下の家庭では、安閑に嫁入時期を待たして置く事も、出来なくなりました。



から、學力の淺深、容貌の醜美いかによりましては、女優ミカ事務員ミカ、將た工場の女工なごに就職さして、家計の幾分を補はす事ミナつたのであります、一利のある所には、必ず一害の伴ふもので、女優ミカ事務員ミカの中には、色んな風評が立ちまして、あたたら前途の方向を誤るやうな事が、頻々ミ現れるやうであります、之は畢竟其目的を達する、手段を過まつたからだと思ふのであります、元來婦人が男子の中に交つて、自由に翱翔するミ云ふ事は、餘程考ふべき事で、寧ろ婦人は、家庭にあつて、相當の收入を得る道を辿るのが、最善の方法だらうと思ふのであります、家庭内職ミして、尤も婦人に適應する者は、ミシン業に若くものはありますまい、勿論多少の練習は要しますが、之を三味線のお稽古に較べましたならば、實に容易なもので、少しく器用の者なら、物の一ヶ月も修業

すれば、優に一日一二圓の報酬は得られるのであります、でありますから、大に之を奨励して、婦人内職の缺陷を補ふ事は、或意味に於ては國家的大事業ミ云ふも、敢て過言ぢやあるまいミ信するのであります、付きましたは大に之が普及に盡力致したいものであります。

### (し) 演 説 体

#### 市 會 議 員 推 薦 の 辞

諸君……近來政治思想の發達致しました事は、大に喜ぶべき事でありましたが、之に伴ふ弊害の多大なるには、誠に一驚を喫するのであります、國會、縣會、府會、市會、町會、村會なごの議員選舉ミなりますれば、有象無象、我も我も競



争場裏に飛出しまして、萬一を僥倖するやうな傾きがありますが、議員なる者は其れ程名譽なものでありませうか、又其程有り難いものでありませうか、當選の必勝を期する場合には、殆んど手段の如何も顧みぬ云ふ程であります、自己の政治思想を、實地に實現しやう云ふ、大抱負に自信がでありますれば、多少穩當を缺ぐ位な事は、恕して遣つてもよいのであります、何等の經倫なく、何等の自信なき者が、當選の必勝を期するに至つては、言語同斷云はねばなりません、何が故に斯くも選舉に狂熱するか言へば、十中の八九までは、議員の肩書によつて、種々の慾望を達しやう云ふ、野心があるからであります、若し斯の如き人物に當選の榮冠を授けましたならば、選舉民の蒙る所の損害云ふものは決して鮮少なものではありません、今回本市より名乗りを擧げられました、大井

仁鎗三君は、他の候補者のやうな、品性汚下の人物ではありませんから、我々は喜んで此人を歓迎して、日夜運動致して居るのであります、本市の利害休戚に留意せらるゝ諸君は、願くは大井仁君の爲めに奔走せられて、他の誘惑に陥らないやう、御注意あらんことを熱望致して置きます。

### 書籍競市來會者に對して

諸君……私は不肖を顧みず、我組各一同を代表して、遠來の同業者諸君に、一言御挨拶申上げます、御承知の如く毎年施行致しまする競市は、年々共に盛況を呈しまするは、畢竟するに、諸君が斯業に御熱心で、遠きを厭はず、御出下さる賜ものに外ならぬのであります、仰ぎ願くは今後益々奮つて、御來臨下さる事



を希望致すのであります、諸君が遠來の勞を慰めんが爲め、本日をとしまして、茲に懇親會を開く事になりました、設備の不充分にして、諸君の御満足を買ふ譯には参りませんが、只だ私共が誠意のある所を御取り下さいます、何卒十二分の歡を盡されんことを希ふのであります、一寸此催しの主意を申上げた次第であります。

(一ひ) 演 説 体

肥料取引改善に付て

諸君……我々同業者の得意先きは、一般農家でありますから、是迄現金取引に云ふ事は、容易に行はれなかつたのであります、處で近年のやうに洪水があつ

たり、虫害があつたり致しますれば、貸付た肥料代金の回収を見る事は、却々困難で、いつ帳簿の整理が附く事が殆んど見込が立たぬのであります、殊に以前に異つて農家も如才なくなりましたから、中には不作を口實として、代金の割引さへ迫る向きもある位で、御互が毎年蒙る所の損害は、實に莫大なものであります、品物を賣つて代金を收むるに云ふのは、尤も明白の事でありました、今後は貸付に云ふ事は、斷然廢して、凡て現金取引に致したいものであります、一時は必ず需用者が減するでありませうが、必要に迫れば、御互の方から競ふて得意を争はずとも、先方から足を運んで來る事は、理の見易い事でありました、よつて一時の苦痛を忍んで、是迄の弊風を一掃したいものであります、さうか諸君の御意見を腹藏なく吐露せられて、戴きたいものであります、繰り返して申上げますが、



此問題を解決する事は、御互共通の利益である事は、豫め御了解を得たいものであります。

(も) 演 説 体

木綿反物商懇談會に於て

諸君……今年も最早餘日がありませんから、嗚々御多忙の事ご存じます、本日御集會を煩しました理由は、木綿丈尺の一件であります、御承知の如く御互が毎日出扱をする織物が、國により所によつて、丈尺が一定せぬ云ふ事は、取扱ふ御互は勿論、購買者の方でも、餘り心持のよいものでもありますまい、木綿ならば端で三丈三か、紐布ならば二丈八尺三か、チャンミ一定致しますれば、丈

尺の長短に付て、顧客に餘計な問答も入らぬ事になりますから、商業上大に時間を節約する事が出来るのであります、之を改良する方法としては、先づ織元と交渉致しまして、右の丈尺に符合せぬものは、返却するに及ばず、又値引を迫る云ふ事に致しますれば、忽ち改良は出来やうと信するのであります、諸君が愈々此事に御賛成下さるならば、我組合の名義を以て、各國各所の織元に、此事を申込む事が第一の要件でありませう、若し諸君が一切の交渉を私に御一任下さりませうれば、私から遺憾なく取計らう積りであります、一寸此儀に付て御懇願申上げたいのであります。



## (せ) 演 説 体

## 石 鹼 商 組 合 協 議 會 に 於 て

石鹼の輸入は年々歳々激増する一方であります。何人も之が防止を企てる者がないのは、實に遺憾の至りであります。橄欖油を原料とする、馬耳塞石鹼の如きは、到底我國の工場には出来ないのではありませんが、今少しく熱心に研究致しましたならば、米國製品を凌駕する位は、決して至難な事ではあるまいと思ふのであります。兎角我國の同業者は、數でこなす云ふ、眼前の利益にのみ腐心する爲めか、一向進歩の痕を見るこゝが出来ないのであります。若し今日の儘にして置きましたならば、我國石鹼業の前途は、必ず悲風落日の嘆を洩らすやうになるの

でありませう、原料騰貴の今日、卸値の引上を斷行する事も、素より急務には相違ございませんが、斯る末葉の小問題よりか、寧ろ如何にして外國品を防止するか云ふ、大問題を諸君と共に、講究致したいのであります。卸値引上に就ては私も諸君と同感でありますから、決して異議を唱ふる譯ではありませんが、折角今日のやうに、多數お集りに際して、單に卸値引上の話のみで、お別を告げる云ふ事は、慊らないやうでありますから、諸君の感情を害したかも知れませんが、平生の意見を持ち出しまして、諸君の御意向を伺つたのであります。私が嘗て支那人に石鹼製造法を授けました時、彼等が了解致しまするやう、七言古詩を作つて、其製法を示した事があります。之より朗吟致しまして、諸君の一察を博したいものであります。



馬港隔在巴里陽。夙製石鹼其名彰。規模廣大不尋常。幾百工廠連四疆。滿目橄欖鬱蒼々。年々搾子代脂肪。川之用之未嘗央。眞是天下無盡藏。我嘗從師學其方。先將橄欖和葯漿。橄欖多少要酌量。又能攪拌以舌嘗。味辣未足充艷妝。不辣不辛始稱咸。葯水強弱關柔剛。溫度高低見短長。鹼化就時加馨香。有時着色紅又黃。曝乾須避塵埃。塵埃汚面難放光。我朋黃君齡逾強。恭謙下人温且良。從我肆藝極周詳。一見忽悟猶探囊。熱心如君誰敢當。不怯雨雪與風霜。雖未入室已升堂。玉成在近何其傷。君不見滔滔迂儒鬪詞章。終生蠢々似優倡。又不聞失意青年學楚狂。此輩此徒眞心盲。丈夫若不爲侯王。降志遊藝亦何妨。知得君去開工

場 鄉 人 爲 築 畫 錦 堂。

序に之を譯して、諸君の諷誦に便する事に致しませう。

馬港は隔りて巴里の陽にあり、夙に石鹼を製して其名彰る、規模の廣大尋常ならず、幾百の工廠四疆に連る、滿目の橄欖鬱として蒼々、年々子を搾りて脂肪に代ふ、之を用ひ之を用ひて未だ嘗て央す、眞に是れ天下の無盡藏、我れ嘗て師に従つて其方を學ぶ、先づ橄欖を將て葯漿に和す、橄欖の多少は酌量を要す又能く攪拌舌を以て嘗む、味ひ辣なれば未だ艷妝に充るに足らず、辣ならず辛ならず始めて咸しと稱す、葯水の強弱は柔剛に關す、溫度の高低短長を見る、鹼化就る時馨香を加ふ、時ありて着色す紅又黃、曝乾須らく避くべし塵埃の颺へるを、塵埃面を汚せば光りを放ち難し、我が朋黃君齡強を逾ゆ、恭謙人に



下りて温且つ良、我に従ひ藝を肆ふて周詳を極む、熱心君の如き誰か敢て當らん、怯れず雨雪風霜を、未だ室に入らず、雖も已に堂に升れり、玉成近きにあり何ぞ其れ傷まん、君見ずや滔々たる迂儒詞章を、終生蠢々優倡に似たり、又聞かずや失意の青年楚狂を、此輩此徒眞に心盲、丈夫若し侯王たらずんば、志を降し藝に遊ぶも亦た何ぞ妨げん、知り得たり君去つて工場を開かば、郷人爲めに築ん畫錦堂。

(す) 演 説 体

水害罹災者慰安會に於て

諸君……今年は如何なる凶年でありませうか、縣下到る所水害を被らない所は

ないやうであります、殊に本郡の如きは、其惨害の甚大なる、一見人をして寒粟を生ぜしめる程であります、今日此處にお集りになつて居る、遺族の方々に向つては、私は何ぞ御挨拶申上げてよいか、胸塞り口噤み、只だモ一皆様と共に、哭泣の聲を放つより外はありません、死生命あり云ふ事は、聖人の教ふる所でありませんが、此の如く非命に斃れた人々に對しましては、此語を以て慰安する事は出来ないと思ふのであります、責めては出来得る限りの善後策を講じまして、死者在天の靈を慰むると共に、遺族の方々をして、今後の生活に不安を感じられないうやう、盡力致して上げたいものであります。

一 能 辯 演 説 と 講 演 終



大正十一年一月五日印刷  
大正十一年一月三日發行

定價金壹圓  
郵稅拾貳錢

著作權  
所有

={演講と説演}=  
~~~~~

著者 坂井末雄

發行者兼 大淵善吉

印刷所 山田元吉

大坂市心齋橋北詰

駸々堂書店

電話(大坂)千〇三十五番



終

